

「認知症アシスト付き 年金払介護補償」の発売

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 北沢 利文、以下「当社」)は、要介護状態や認知症になった場合でも安心して暮らすことができる社会の実現に貢献するため、長期化する介護に対応した補償と、認知症高齢者およびそのご家族等に対する支援サービスを備えた「認知症アシスト付き年金払介護補償」を販売します。

1. 背景

政府統計(※)によると、要支援・要介護者数は2018年3月末時点で65歳以上人口の5人に1人(約641万人)に達しています。また、2012年時点で462万人と推計されていた認知症高齢者数は、2025年には700万人規模にまで増加するといわれています。

このような社会的な背景から、従来から様々な民間介護保険が販売されておりますが、保険料の安い若年時は介護は先のことと感じられるため、民間介護保険に対するニーズを感じにくく、一方、ニーズが高まる高齢期においては加入時の保険料が高くなるため、結果的に民間介護保険の未加入者はまだまだ多い現状にあります。

当社は、この課題を解決するため、高齢者にとっても“加入しやすい保険料で”、要介護状態となった場合に継続的に必要となる費用への備えと、認知症高齢者およびそのご家族の不安を解消するサービスを提供する「認知症アシスト付き 年金払介護補償」を開発いたしました。

(※)厚生労働省:「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の概要」資料より

2. 商品概要

(1) 特徴

① 長期にわたる補償をリーズナブルに

公的介護保険制度における要介護3以上に認定された場合に、最大10年間、毎年保険金をお支払いします(年間の保険金額を100万円に設定した場合、最大で1,000万円を受け取ることができます)。

また、補償対象範囲を介助の必要性がより高まる要介護3(※)以上、てん補期間を10年とすることで、高齢期からでも加入しやすい保険料水準を実現しています。

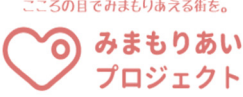
(※)食事や排泄に一部介助が必要、立ち上がりや片足での立位保持などが一人でできない、または入浴や衣服の着脱などに全面的な介助が必要な状態。

② 仕事と介護の両立を支援

介護離職をする人は、毎年10万人程度と高い水準にあり、仕事と介護の両立は社会的な課題となっています。本商品では、親を保険の対象としてご加入いただくことも可能としており、親が長期的に介護状態になった場合にも保険金をお支払いすることで、仕事と介護の両立を支援します。

③ 充実のサービス(認知症アシスト)

認知症になっても安心して生活をしていただけるよう、保険の対象の方やそのご家族を支える認知症アシストを提供します。

項目	概要
脳機能向上 トレーニング	株式会社 NeU が提供する記憶力や注意力など脳機能の維持向上を目的としたトレーニングプログラムを提供します。プログラムの監修は脳トレ第一人者の川島隆太氏 (NeU 取締役 兼 東北大学加齢医学研究所所長) が務めています。
「認知症の人と 家族の会」の紹介	多くの認知症の方またはそのご家族に、「公益社団法人 認知症の人と家族の会」へ入会する機会を得ていただくため、同会を紹介します。
検索支援サービス 	<p>【緊急連絡ステッカー】</p> <p>被保険者本人が行方不明になった場合の速やかな発見・保護を支援するために、「緊急連絡ステッカー」を提供します。</p> <p>【検索協力支援アプリ「みまもりあいアプリ」】</p> <p>被保険者本人の行方不明時に「みまもりあいアプリ」をダウンロードしている方に「検索依頼」を一斉配信することができる検索支援アプリを提供します。</p> <p>(※)「みまもりあいアプリ」は一般社団法人セーフティネットリンケージが取り組む「みまもりあいプロジェクト」の支援ツールで、2018 年末までに全国で約 40 万件ダウンロードされています。</p> <p>(※)「みまもりあいプロジェクト」とは、「緊急連絡ステッカーと検索協力支援アプリ」を使って、外出時の万一の事態(行方不明・事故等)に、地域で助け合える協力者を増やし、見守り合える街を育てる活動を意味しており、当社はその活動を応援しています。</p>
認知症介護 電話相談	ケアマネジャー・社会福祉士・看護師等が、認知症の対処法等の相談に電話でお応えします。また、認知症の不安に対して、医師の監修を受けた「もの忘れチェックプログラム」もご案内します。

(2) 保険の対象となる方

40 歳以上 79 歳以下の方。

なお、更新契約は 84 歳までご加入いただけます。

(3) 契約方式

企業等を契約者とし、その構成員等が任意に加入する団体契約(商品名: 団体総合生活保険)

(4) 販売時期

2019 年 10 月 1 日保険始期契約から

3. 今後の展開

当社は、要支援・要介護者の増加や認知症に対する社会的な関心の高まりを受け、2018 年 10 月より業界初の認知症の方専用商品「認知症あんしんプラン」(※)の販売を開始する等、介護や認知症に対するソリューションの提供に注力しております。

今後も、当社は介護や認知症になった場合でも安心して暮らすことができる社会の実現に向けて、より進化した保険の開発等に取り組んでまいります。

(※) 認知症の方が行方不明になったときの検索費用補償や、線路への立ち入りで電車を運行不能にさせたことによる法律上の損害賠償責任に対する補償を提供する商品。詳細は以下ニュースリリース参照。

「2018 年 7 月 24 日付 【業界初】認知症の方およびそのご家族のための保険「認知症あんしんプラン」の発売」

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/180724_01.pdf

【参考】月額保険料例

年齢	【新商品】認知症アシスト付き 年金払介護補償 ※保険期間1年間、保険金額 100万円/年 てん補期間 10年、団体割引 30%適用	
	男性	女性
40-44 歳	80 円	70 円
45-49 歳	110 円	100 円
50-54 歳	160 円	140 円
55-59 歳	260 円	240 円
60-64 歳	480 円	440 円
65-69 歳	1,120 円	1,370 円
70-74 歳	1,840 円	2,730 円
75-79 歳	3,980 円	6,030 円
80-84 歳	7,960 円	12,490 円

以上